

# 概 要

## ○ 調査期間

平成24年8月～平成24年10月

## ○ アンケート回収結果

有効回収数 ・・・・ 1,547件 委員数 2,063名（平成24年8月現在）

有効回収率 ・・・・ 75.0%

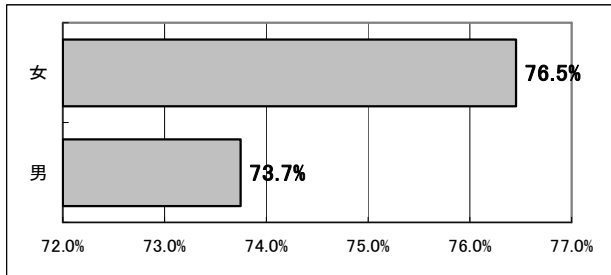
## ○ 調査結果利用上の注意

〔1〕 回答率は小数点以下第2位を四捨五入しているために、数表、図表に示す回答率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。

〔2〕 2つ以上の回答を要する設問（複数回答）の場合、その回答比率の合計は100%にならない場合がある。

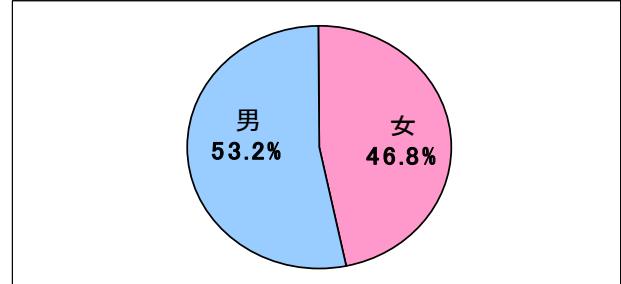
### ◆ 回答率（男女別）

性別	委員数	回答人数	回答率
合計	2063	1547	75.0%
女性	947	724	76.5%
男性	1116	823	73.7%



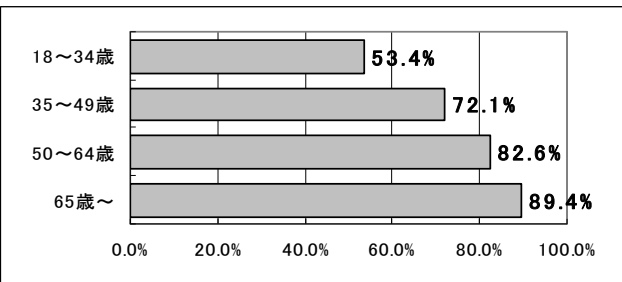
### ◆ 回答者内訳（男女別）

性別	回答人数	回答率
合計	1547	100.0%
女性	724	46.8%
男性	823	53.2%



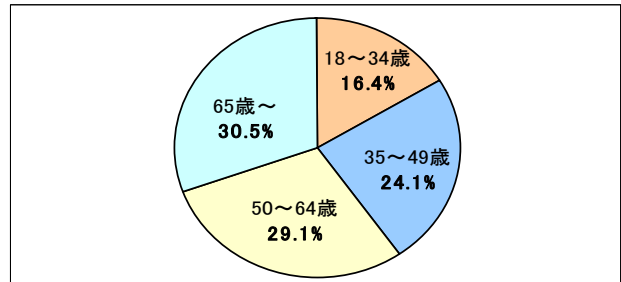
### ◆ 回答率（年齢別）

年齢別	委員数	回答人数	回答率
全年齢	2063	1547	75.0%
18～34歳	474	253	53.4%
35～49歳	516	372	72.1%
50～64歳	545	450	82.6%
65歳～	528	472	89.4%



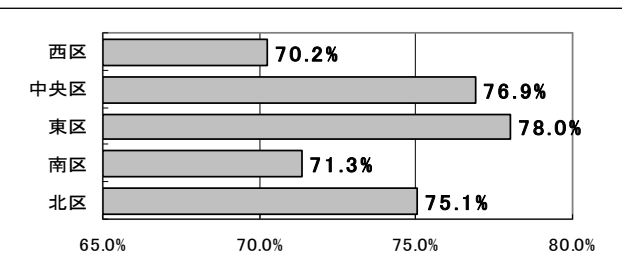
### ◆ 回答者内訳（年齢別）

年齢別	回答人数	回答率
全年齢	1547	100.0%
18～34歳	253	16.4%
35～49歳	372	24.1%
50～64歳	450	29.1%
65歳～	472	30.5%



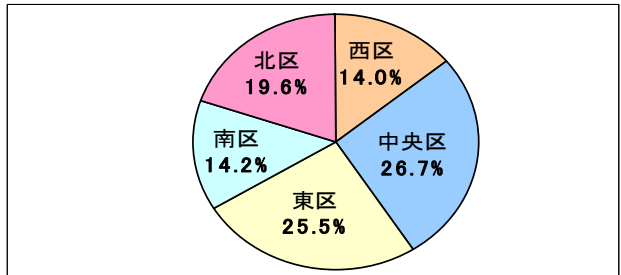
### ◆ 回答率（居住区別）

区 別	委員数	回答人数	回答率
全区	2063	1547	75.0%
西区	309	217	70.2%
中央区	537	413	76.9%
東区	505	394	78.0%
南区	307	219	71.3%
北区	405	304	75.1%



### ◆ 回答者内訳（居住区別）

区 別	回答人数	回答率
全区	1547	100.0%
西区	217	14.0%
中央区	413	26.7%
東区	394	25.5%
南区	219	14.2%
北区	304	19.7%



### Ⅲ くまもと医療都市2012グランドデザインについて

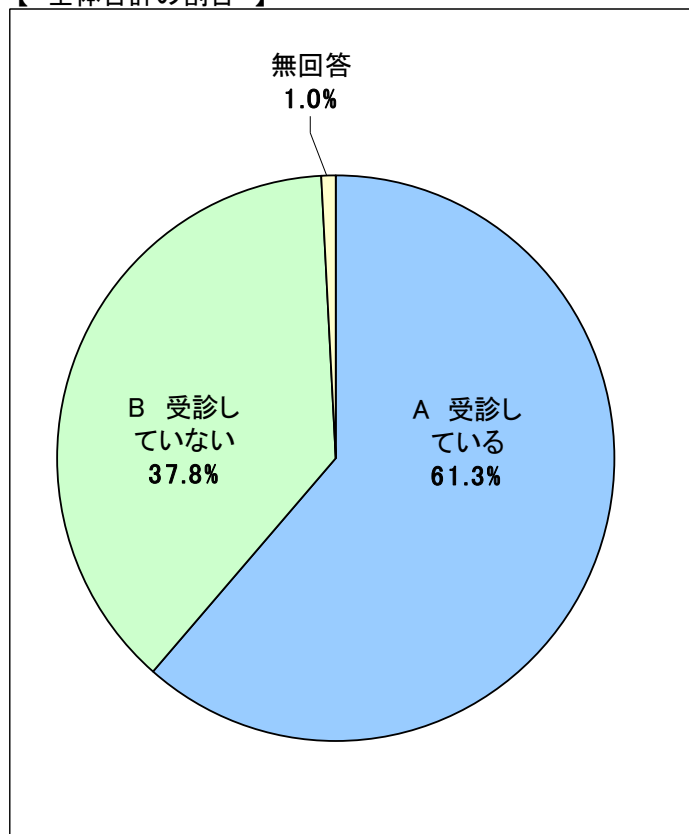
問1 あなたは、定期的に医療機関を受診していますか。（例えば、高血圧や糖尿病など）

		A 受診している	B 受診していない	無回答	合計件数
全体合計		948	584	15	1547
区別	西 区	143	72	2	217
	中央区	260	150	3	413
	東 区	232	158	4	394
	南 区	113	100	6	219
	北 区	200	104	0	304
年齢別	18~34	72	180	1	253
	35~49	158	211	3	372
	50~64	326	118	6	450
	65~	392	75	5	472

#### 【 集計分析 】

- 医療機関を定期的に受診している方は61.3%、受診していない方は37.8%であり、受診している方が多かった。受診していると回答した方が多い結果であった。
- 区ごとにみると、西区や北区で、受診している割合がやや高い傾向がみられ、年齢別にみると高齢になるほど高くなり、特に65歳以上では、83.1%の方が受診されている。

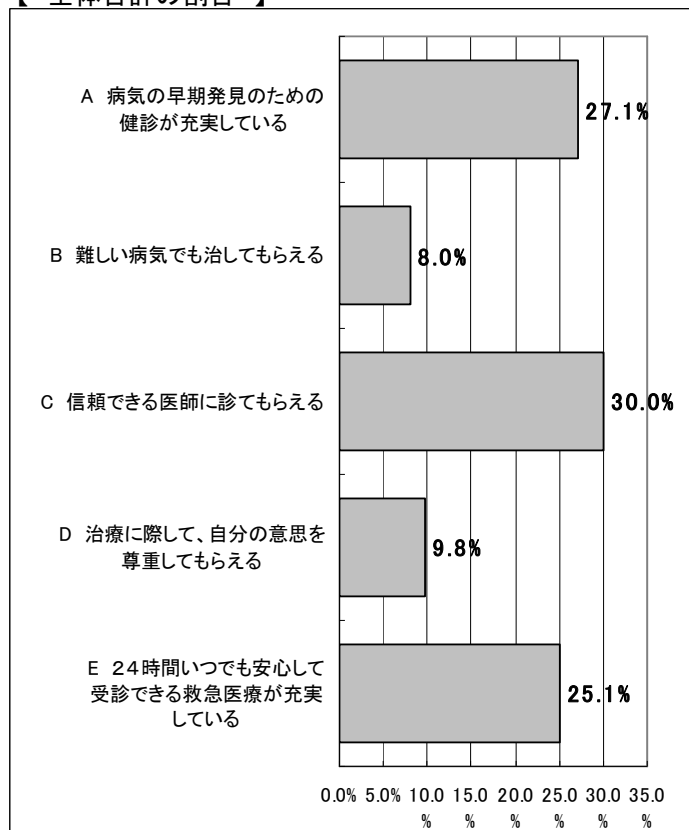
#### 【 全体合計の割合 】



問2 日頃、あなたが、医療に求めること、期待することはどのようなことですか。  
(2つまで)

		A 病気の早期発見のための健診が充実している	B 難しい病気でも治してもらえる	C 信頼できる医師に診てもらえる	D 治療に際して、自分の意思を尊重してもらえる	E 24時間いつでも安心して受診できる救急医療が充実している	合計件数
全体合計		767	226	847	278	709	2827
区別	西 区	108	34	110	35	104	391
	中央区	204	51	235	88	188	766
	東 区	207	66	211	69	179	732
	南 区	109	28	117	48	92	394
	北 区	139	47	174	38	146	544
年齢別	18~34	126	48	133	35	125	467
	35~49	172	68	212	78	163	693
	50~64	216	71	236	79	212	814
	65~	253	39	266	86	209	853

【 全体合計の割合 】



(集計分析は46ページに記載)

問1で A 受診している を選択された方の意見

	A 病気の早期発見のための健診が充実している	B 難しい病気でも治してもらえる	C 信頼できる医師に診てもらえる	D 治療に際して、自分の意思を尊重してもらえる	E 24時間いつでも安心して受診できる救急医療が充実している	合計件数	
全体合計	517	127	529	167	407	1747	
区別	西 区	78	22	73	19	67	259
	中央区	133	23	155	56	118	485
	東 区	134	41	123	46	89	433
	南 区	62	13	63	27	42	207
	北 区	110	28	115	19	91	363
年齢別	18~34	42	10	40	12	27	131
	35~49	76	28	99	34	56	293
	50~64	177	54	163	55	152	601
	65~	222	35	227	66	172	722

問1で B 受診していない を選択された方の意見

	A 病気の早期発見のための健診が充実している	B 難しい病気でも治してもらえる	C 信頼できる医師に診てもらえる	D 治療に際して、自分の意思を尊重してもらえる	E 24時間いつでも安心して受診できる救急医療が充実している	合計件数	
全体合計	249	99	318	111	300	1077	
区別	西 区	30	12	37	16	37	132
	中央区	71	28	80	32	70	281
	東 区	72	25	88	23	88	296
	南 区	47	15	54	21	50	187
	北 区	29	19	59	19	55	181
年齢別	18~34	84	38	93	23	98	336
	35~49	96	40	113	44	107	400
	50~64	38	17	73	24	59	211
	65~	31	4	39	20	36	130

問1で 無回答 の方の意見

	A 病気の早期発見のための健診が充実している	B 難しい病気でも治してもらえる	C 信頼できる医師に診てもらえる	D 治療に際して、自分の意思を尊重してもらえる	E 24時間いつでも安心して受診できる救急医療が充実している	合計件数	
全体合計	1	0	0	0	2	3	
区別	西 区	0	0	0	0	0	0
	中央区	0	0	0	0	0	0
	東 区	1	0	0	0	2	3
	南 区	0	0	0	0	0	0
	北 区	0	0	0	0	0	0
年齢別	18~34	0	0	0	0	0	0
	35~49	0	0	0	0	0	0
	50~64	1	0	0	0	1	2
	65~	0	0	0	0	1	1

【 集計分析 】

- 市民が医療に求めること、期待することとしては、「信頼できる医師」(30%)が最も多く、次いで「健診の充実」(27.1%)、「救急医療の充実」(25.1%)の順であった。市民が、信頼できる医師に診てもらうことを期待している。
- また、問1の質問に「受診している」と答えた方と「受診していない」と答えた方で比較すると、「受診している」と答えた方のほうが、「早期発見のための健診の充実」(517件)と答えた意見が多く、日ごろから医療機関を受診していない方の場合、早期発見のための健診が重要であることに対する認識の低さが伺える。一方、「受診していない」と答えた方は、「救急医療の充実」(300件)が「信頼できる医師」(318件)と同じくらい多かった。日ごろ受診していないため、緊急時の備えに対する隠れた不安が伺える。
- 信頼できる医師の「信頼」という言葉にはいろんな意味が含まれていると思われるが、優れた医療技術や医療機器ではなく、人間としての医師への信頼も含まれるものと考えられ、今後、医療機関等への情報提供をしていきたい。

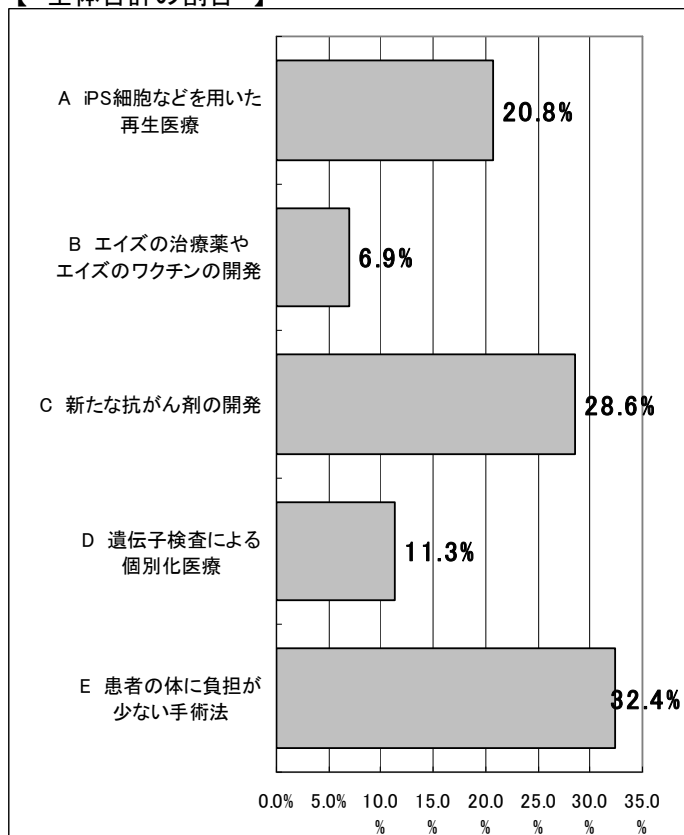
問3 本市には、医療全般に関する研究に加え、発生医学研究所やエイズ研究センターなどの研究拠点施設がありますが、今後、このような先端医療技術の分野で、どのような研究成果を望みますか。（2つまで）

		A iPS細胞などを用いた再生医療	B エイズの治療薬やエイズのワクチンの開発	C 新たな抗がん剤の開発	D 遺伝子検査による個別化医療	E 患者の体に負担が少ない手術法	合計件数
全体合計		588	196	810	319	915	2828
区別	西 区	81	22	108	56	117	384
	中央区	149	57	215	78	253	752
	東 区	155	52	223	80	235	745
	南 区	90	28	106	43	124	391
	北 区	113	37	158	62	186	556
年齢別	18~34	106	74	118	54	123	475
	35~49	144	50	180	101	222	697
	50~64	181	43	255	73	268	820
	65~	157	29	257	91	302	836

【 集計分析 】

- 先端医療技術の中で、市民の関心が高いものは、「負担が少ない手術法」（32.4%）、「抗がん剤の開発」（28.6%）、「再生医療」（20.8%）の順であった。さらに「負担が少ない手術法」、「抗がん剤の開発」、の2項目については、年齢が高くなるにつれ、希望する割合が多くなる傾向があり、年齢とともに、がんや手術に関する関心が高まってきているものと同える。
- 今後も、この熊本の地で、先端医療技術の研究開発がさらに進んでいくことを期待していきたい。

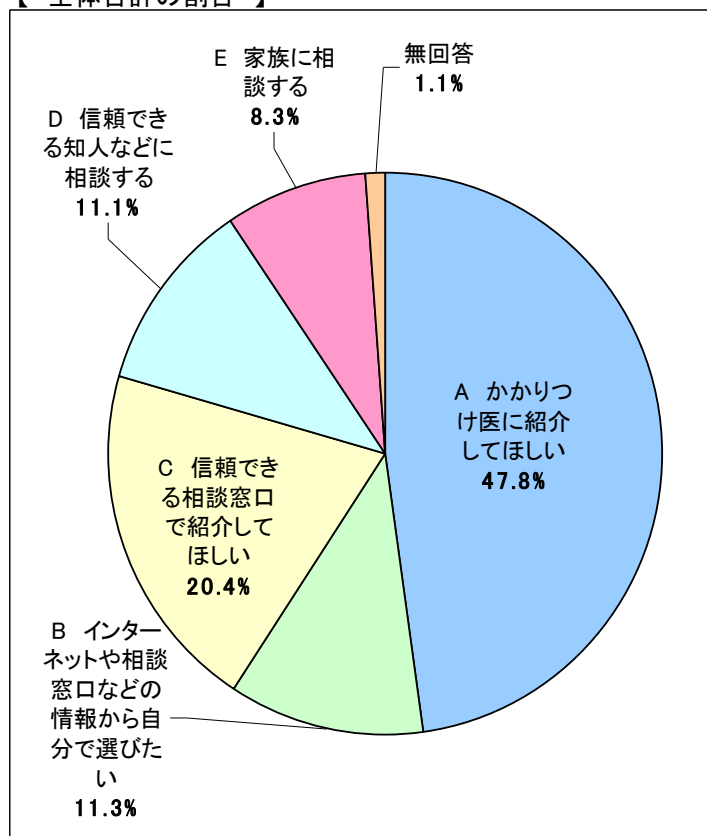
【 全体合計の割合 】



問4 あなたは、自分が大きな病気にかかり、治療する医療機関を選ぶときに、どのようにして選びたいですか。（1つだけ）

	A かかりつけ 医に紹介し てほしい	B インター ネットや相 談窓口など の情報から 自分で選び たい	C 信頼できる 相談窓口で 紹介してほ しい	D 信頼できる 知人などに 相談する	E 家族に相談 する	無回答	合計件数	
全体合計	740	175	315	172	128	17	1547	
区別	西 区	113	24	38	21	19	2	217
	中央区	188	45	92	53	30	5	413
	東 区	173	44	89	45	40	3	394
	南 区	101	26	42	25	21	4	219
	北 区	165	36	54	28	18	3	304
年齢別	18~34	79	45	52	34	42	1	253
	35~49	120	63	85	64	36	4	372
	50~64	199	50	112	52	31	6	450
	65~	342	17	66	22	19	6	472

【 全体合計の割合 】



(集計分析は50ページに記載)

問1で A 受診している を選択された方の意見

	A かかりつけ医 に紹介してほ しい	B インターネット や相談窓口 などの情報か ら自分で選び たい	C 信頼できる相 談窓口で紹介 してほしい	D 信頼できる知 人などに相談 する	E 家族に相談す る	無回答	合計件数	
全体合計	544	92	172	82	53	5	948	
区別	西 区	90	14	18	9	11	1	143
	中央区	146	25	52	24	11	2	260
	東 区	123	18	54	20	17	0	232
	南 区	61	15	17	12	7	1	113
	北 区	124	20	31	17	7	1	200
年齢別	18~34	26	13	16	8	9	0	72
	35~49	62	26	33	25	11	1	158
	50~64	159	38	77	31	19	2	326
	65~	297	15	46	18	14	2	392

問1で B 受診していない を選択された方の意見

	A かかりつけ医 に紹介してほ しい	B インターネット や相談窓口 などの情報か ら自分で選び たい	C 信頼できる相 談窓口で紹介 してほしい	D 信頼できる知 人などに相談 する	E 家族に相談す る	無回答	合計件数	
全体合計	192	83	143	89	74	3	584	
区別	西 区	23	10	20	11	8	0	72
	中央区	42	20	40	29	19	0	150
	東 区	49	26	35	25	22	1	158
	南 区	37	11	25	13	14	0	100
	北 区	41	16	23	11	11	2	104
年齢別	18~34	53	32	36	26	33	0	180
	35~49	58	37	52	39	25	0	211
	50~64	37	12	35	21	12	1	118
	65~	44	2	20	3	4	2	75

問1で 無回答 の方の意見

	A かかりつけ医 に紹介してほ しい	B インターネット や相談窓口 などの情報か ら自分で選び たい	C 信頼できる相 談窓口で紹介 してほしい	D 信頼できる知 人などに相談 する	E 家族に相談す る	無回答	合計件数	
全体合計	4	0	0	1	1	9	15	
区別	西 区	0	0	0	1	0	1	2
	中央区	0	0	0	0	0	3	3
	東 区	1	0	0	0	1	2	4
	南 区	3	0	0	0	0	3	6
	北 区	0	0	0	0	0	0	0
年齢別	18~34	0	0	0	0	0	1	1
	35~49	0	0	0	0	0	3	3
	50~64	3	0	0	0	0	3	6
	65~	1	0	0	1	1	2	5



## 【 集計分析 】

- 治療する医療機関の選択に際し、「かかりつけ医に紹介して欲しい」(47.8%)という回答が最も多く、高齢になるほどこの傾向は強かった。次に、「信頼できる相談窓口を利用したい」(20.4%)という方も多く、年齢が上がるに従い、その割合は増加しているが、65歳以上では「かかりつけ医に紹介してほしい」が70%を超えているため、「相談窓口」の利用は減少している。
- 問1の質問に「受診している」と答えた方と「受診していない」と答えた方で比較すると、「かかりつけ医に紹介してほしい」は、「受診している」では57.4%であったが、「受診していない」では32.9%と低くなっている。  
また、「インターネットによる相談」は「受診している」では9.7%であったが、「受診していない」では14.2%、「相談窓口」は、「受診している」では18.1%であったが、「受診していない」では24.5%とそれぞれ高くなっている。
- この結果から、高齢になるほど、かかりつけ医からの紹介を希望しており、年齢が低くなるほどインターネットなどの情報による選択を希望していること等が明らかとなった。
- また、日ごろから「受診している」と答えた方はかかりつけ医に相談するが、「受診していない」と答えた方はインターネットや相談窓口を希望していることがわかった。
- 今後もかかりつけ医が医療連携の要としての役割を担っていること等について市民啓発を行っていくとともに、インターネットや相談窓口などの幅広い媒体を用いての情報発信にも取り組んでいくことが必要である。

問5 あなたは、自分が大きな病気にかかり、治療する医療機関を選ぶときに、どんな情報があれば選びやすい（または選びやすかった）ですか。（2つまで）

		A 有名な医師 がいる病院	B 自分の病気 について、 治療成績が いい病院 (5年生存 率など)	C 自分が受け たい治療方 法や手術方 法を実施し ている病院	D 最新の医療 機器がある 病院	E 患者の治療 体験に基づ いた評判が いい病院	F その他	合計件数
全体合計		214	668	601	412	702	46	2643
区別	西 区	30	81	78	60	96	10	355
	中央区	47	180	172	108	187	15	709
	東 区	54	187	146	96	195	13	691
	南 区	35	99	77	67	88	4	370
	北 区	48	121	128	81	136	4	518
年齢別	18~34	45	132	88	41	134	3	443
	35~49	39	182	161	84	192	15	673
	50~64	51	195	173	136	194	7	756
	65~	79	159	179	151	182	21	771

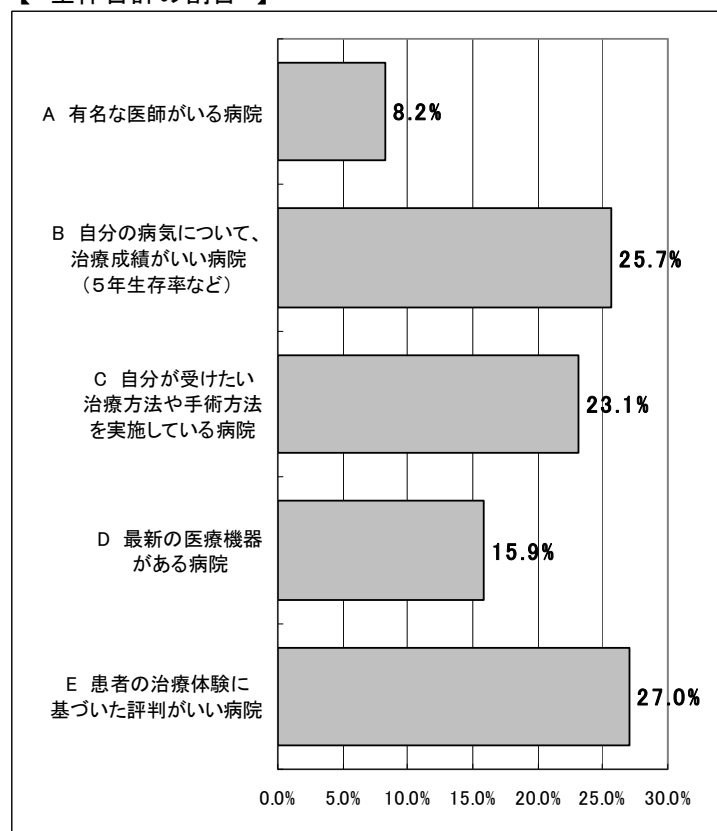
【 集計分析 】

- 医療機関を選ぶ際の情報については、「評判がいい病院」(27%)、「治療成績がいい病院」(25.7%)の順に希望する方が多く、いわゆる「どこの病院が上手なのか」といった具体的な情報を求められるケースが多かった。  
また、若い方ほど、この傾向は強くみられ、逆に高齢になるほど、「自分が受けたい治療方法を実施している病院」や「最新の医療機器がある病院」を選ぶ方の割合が高くなってきている。
- 「有名な医師がいる病院」(8.2%)の割合はそれほど高くなく、市民も比較的冷静にいろいろな情報を整理して医療機関を選択していることが分かるが、今後、希望が多かった項目についての情報発信の可能性などについて研究していきたい。

【 L その他 主な意見 】

- ・ かかりつけ医に相談する
- ・ 専門医の情報
- ・ 患者の話しをよく聞いてくれる医師
- ・ 第三者機関による病院の評価 など

【 全体合計の割合 】



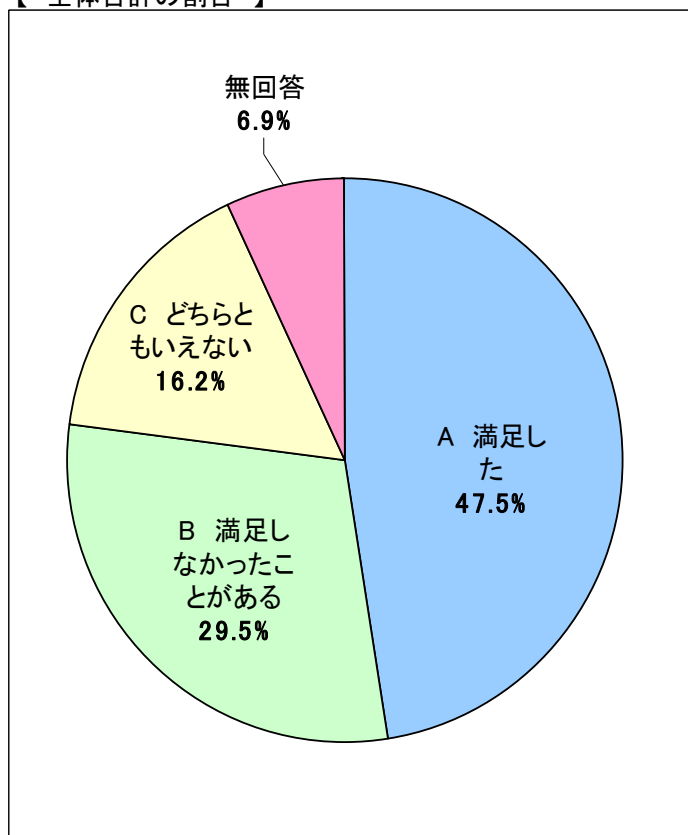
問6 最近（または以前に）医療機関で診察を受けた時に、医療機関の対応に満足しましたか。また、その理由も併せてご記載ください。（1つだけ）

		A 満足した	B 満足しなかった ことがある	C どちらともいえ ない	無回答	合計件数
全体合計		735	456	250	106	1547
区別	西 区	107	62	27	21	217
	中央区	204	109	76	24	413
	東 区	180	126	64	24	394
	南 区	89	77	34	19	219
	北 区	155	82	49	18	304
年齢別	18～34	105	88	46	14	253
	35～49	147	126	75	24	372
	50～64	207	140	66	37	450
	65～	276	102	63	31	472

【 集計分析 】

- 医療機関の対応に満足した方は、47.5%、満足しなかった方は、29.5%であり、市民の約半数は、満足しているとの結果であった。
- 医師の説明や医療従事者の対応に関する意見も多く、その際の対応により満足感に差がでてきているものと推測された。
- また、理由としてかかりつけ医であったため、その対応に満足していると回答した方も多く、かかりつけ医を持つことの意義やその役割についての市民啓発も重要である。
- 医療機関におけるインフォームド・コンセント（説明と同意）が非常に重要であることは以前よりいわれているところであるが、今後とも医療機関に対して、情報発信をしていきたい。

【 全体合計の割合 】



【 A 満足した と答えられた方の主な理由 】

- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いつもみてもらっているかかりつけの先生であるため</li> <li>・ 先生や看護師等の医療従事者が丁寧な対応してくれた</li> <li>・ 医師の説明が分かりやすかった</li> <li>・ わかるまで何度も説明してくれた</li> <li>・ 医師が患者の話をよく聞いてくれた</li> <li>・ 患者の意思を尊重してくれた</li> <li>・ 期待した結果が得られた</li> <li>・ 検査結果を分かりやすく説明してくれた</li> <li>・ 最新の医療機器があった</li> <li>・ 病気の治療内容、検査内容について分かりやすく説明してくれた</li> <li>・ 受付の人の対応がよかった</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医師が、患者の顔を見て説明してくれた</li> <li>・ 患者の気持ちに寄り添ってもらえた</li> <li>・ 医療機関の連携がよくとれており、適切な医療機関を紹介してくれた</li> <li>・ 休日や夜間でも治療をしてもらえた</li> <li>・ 予約制で、待ち時間が短くてよかった</li> <li>・ 薬の説明をきちんとしてもらえた</li> <li>・ 病気の早期発見をもらった</li> <li>・ 病気の治療だけでなく、今後の予防についても教えてくれた</li> <li>・ 薬も必要なものだけ処方された</li> <li>・ 医師や看護師が、患者の不安を解消してくれた</li> <li>・ 信頼できる医師がいた など</li> </ul> |
|---|--|

【 B 満足しなかったことがある と答えられた方の主な理由 】

- |  |   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医師からの説明不足(病気、治療方法等)</li> <li>・ 医師との信頼関係が築けなかった</li> <li>・ 医師が一方向的に話をされた。質問しにくい雰囲気であった</li> <li>・ 患者が多すぎて診察時間が短く、質問がなかなかできなかった</li> <li>・ 医師が患者の話を聞いてくれなかった</li> <li>・ 医師が横柄であった</li> <li>・ 治療したがなかなか治らなかった</li> <li>・ 治療効果がみられない</li> <li>・ 対応が事務的で人間味がなかった</li> <li>・ 治療内容に満足しなかった</li> <li>・ 歯科医院で説明なしで治療をされた</li> <li>・ 医師の誤診</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 待ち時間が長すぎる</li> <li>・ 手術に関する不満(説明不足、技術、退院が早すぎる、再手術、後遺症など)</li> <li>・ 担当医師が、何度も代わった</li> <li>・ 不要な検査をされた</li> <li>・ 薬に関する不満(種類が多い、効果が無い、ジェネリック)</li> <li>・ 医師が患者を見ずにパソコンをみて話された</li> <li>・ 看護師や受付の態度が悪い</li> <li>・ 緊急でいったのに待ち時間が長すぎた</li> <li>・ がんの治療に際して、十分な説明がなかった</li> <li>・ 病状を尋ねたり、検査結果を見るだけで、患者の体の診察をしてもらえなかった など</li> </ul> |
|--|---|

【 C どちらともいえない と答えられた方の主な理由 】

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ あまり病院にかからないのでわからない</li> <li>・ 医師の対応がいい時と悪い時がある</li> <li>・ 医療機関の対応はこんなものかなあと思っている</li> <li>・ 他の病院のことを知らない</li> <li>・ 病気の詳しい説明を聞きたいが、理解しきれないのであきらめた</li> <li>・ 待ち時間が長いのは困るが、患者が多いので仕方ないと思っている</li> <li>・ 対応も普通であったため</li> <li>・ 検査で利用したぐらいだからわからない など</li> </ul> |
|---|

問7 あなたは、休日や夜間に診てもらえる休日・夜間急患センターを、どんなときに利用していますか。（または利用したいですか）（1つだけ）

	A 急な病気やケガで困ったときだけ利用している（利用したい）	B 昼間は仕事で時間がないので、救急ではないが利用している（利用したい）	C 昼間の診察時間よりも待ち時間が短いのでよく利用している（利用したい）	D 急な病気やケガで困ったときでも、例えば小児救急電話相談等に相談して、その結果受診したほうが良いと言われた場合には受診するようにしている	E できるだけ利用しなくて済むように、診察時間中の受診を心がけている	無回答	合計件数	
全体合計	943	36	7	77	443	41	1547	
区別	西 区	128	3	1	8	69	8	217
	中央区	254	14	2	12	119	12	413
	東 区	256	8	0	21	102	7	394
	南 区	120	5	1	22	65	6	219
	北 区	185	6	3	14	88	8	304
年齢別	18～34	143	10	2	37	57	4	253
	35～49	233	15	1	25	94	4	372
	50～64	300	9	2	5	127	7	450
	65～	267	2	2	10	165	26	472

【 集計分析 】

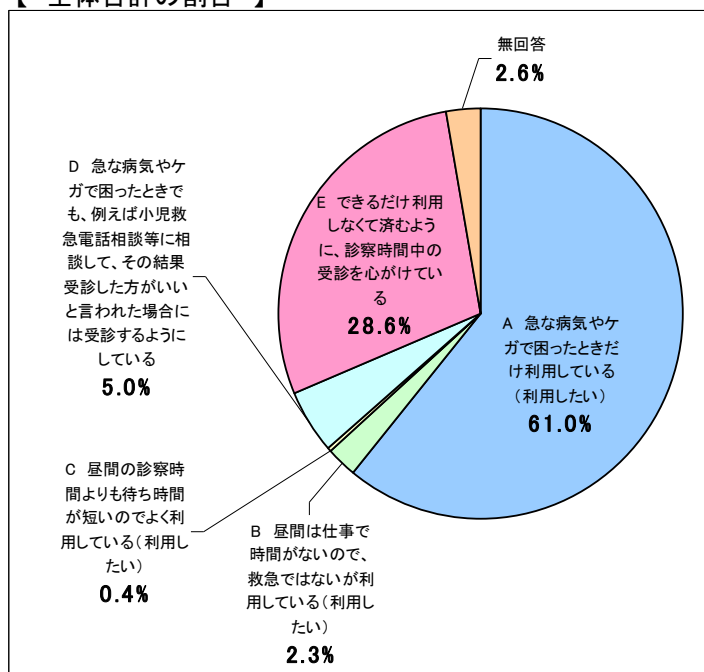
○ 急な病気やケガのときだけ利用している方が61%、できるだけ利用しないように心がけている方が28.6%であり、全体の約9割の方は適切な利用をしていると推測できた。

しかし、昼間は仕事で時間がないからとか、昼間よりも待ち時間が短いからの理由で利用している方も約3%おり、今後、このグループの方への働きかけが必要であると思われた。

また、年齢別にみると、18～34歳のグループでは、小児救急電話相談を利用している割合が高かった。

できるだけ利用しないように心がけると回答した方の割合は、高齢になるほど高い傾向があった。

【 全体合計の割合 】



問8 熊本市は、医師数や入院用ベッドが政令指定都市の中でも多く、救急医療体制も充実しているなど、医療に大変恵まれた都市です。あなたは、熊本市の医療が大変恵まれていると聞いてどう思われますか。（1つだけ）

	A 生活に欠かせない医療に大変恵まれているということはいいことであり、大切に利用していきたい	B 恵まれた医療環境をもっと市民に周知し、積極的に活用すべきだ	C 自分の経験などから、熊本市の医療が恵まれているとは思えない	D 医療機関が多いということは、それだけ医療費がかかるということではないか	E その他	無回答	合計件数
全体合計	943	283	114	101	69	37	1547
区別	西 区	136	43	18	10	4	217
	中央区	248	77	28	31	19	413
	東 区	240	68	25	31	22	394
	南 区	137	36	16	11	10	219
	北 区	182	59	27	18	14	304
年齢別	18～34	151	42	23	14	4	253
	35～49	208	71	37	32	4	372
	50～64	279	81	36	28	8	450
	65～	305	89	18	27	12	472

【 集計分析 】

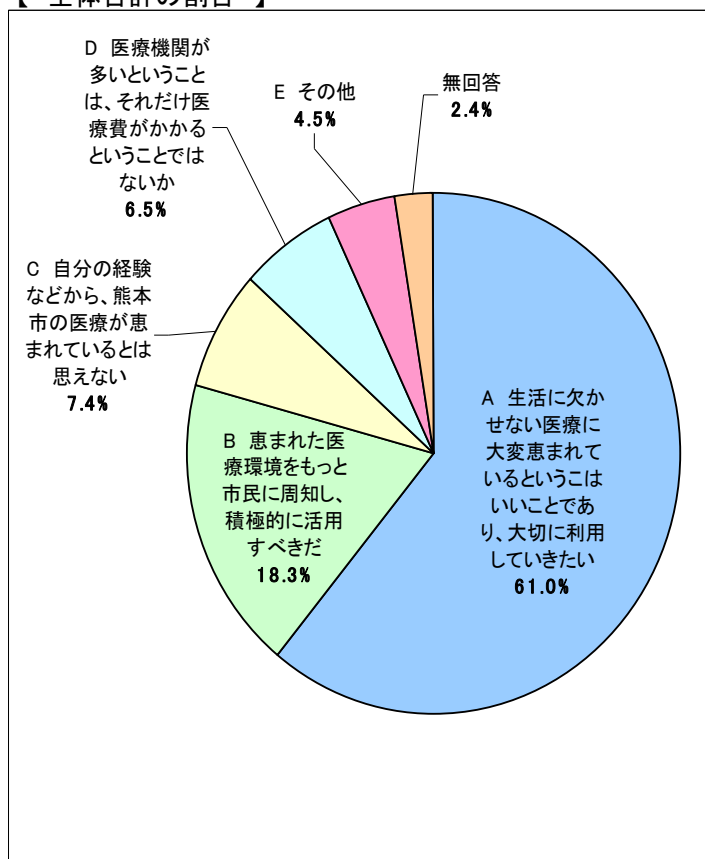
○「恵まれた医療環境を大切に利用したい」と「市民にもっと周知すべき」と回答した方をあわせると約8割に達しており、医療に大変恵まれているということを好意的に捉えている方が多かった。  
また、「恵まれているとは思えない」（7.4%）や「医療機関が多いと医療費がかかる」（6.5%）と回答した方もおり、医師や入院用ベッドが多いことをもって直ちに恵まれているとはいえないのではないかとご意見もあった。

○ 今後は、熊本の医療の現状を広く市民に周知し、医療に対する関心を高めていきたい。

【 E その他 主な意見 】

- ・ 数が多いということではなく、医療の質が問題である
- ・ 本当に必要とされる医療が充実しているのか疑問である など

【 全体合計の割合 】



問9 市民の2人に1人ががんにかかり、3人に1人ががんで亡くなっています。あなたはがんと診断された場合に、治療方針や療養の仕方等いろいろな事をどこに（誰に）相談しますか。（2つまで）

	A 他の専門病院で治療法等について意見を聞く（セカンドオピニオン）	B 病院や対がん協会などの相談窓口を利用する	C 本やインターネットなどで病気や治療方法を調べる	D かかりつけ医に相談する	E 実際にがん治療を受けている人から話を聞く	F その他	合計件数
全体合計	792	340	426	698	204	61	2521
区別	西 区	103	42	55	100	25	333
	中央区	213	89	108	184	57	674
	東 区	233	98	114	152	52	661
	南 区	105	48	68	93	35	356
	北 区	138	63	81	169	35	497
年齢別	18～34	135	55	112	79	38	431
	35～49	218	86	157	108	68	652
	50～64	253	104	109	198	49	723
	65～	186	95	48	313	49	715

【 集計分析 】

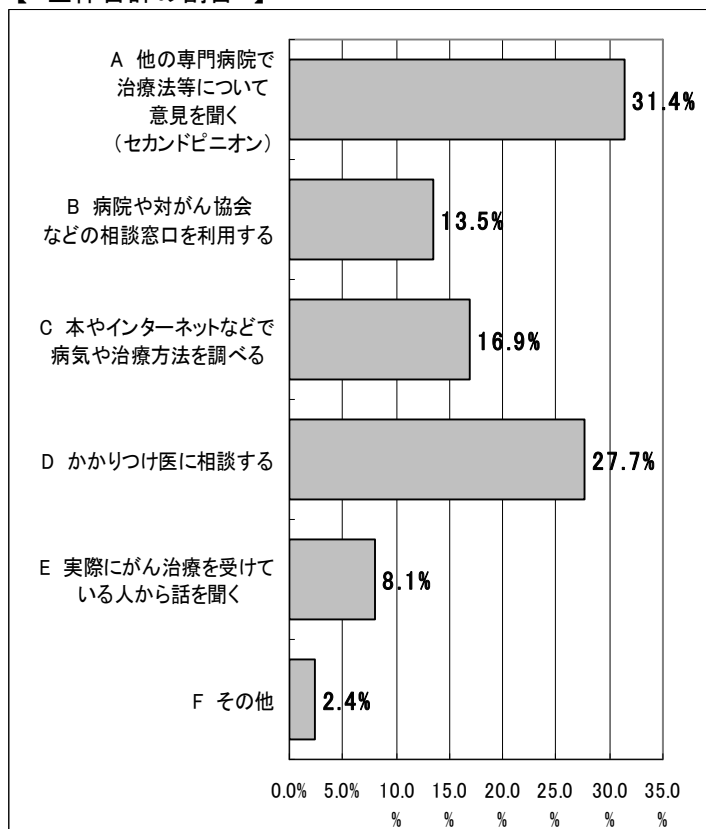
○ 全体的には、がんと診断された場合に、治療方針や療養の仕方等いろいろな事を相談したいのは、「他の専門病院で治療法等について聞く」が31.4%、「かかりつけ医に相談する」が27.7%となっており、医師への相談を希望する方が多かった。

○ 年齢区分別に見ると18～34歳、35～49歳、50～64歳では、「他の専門病院で治療法等について聞く」が一番多く、18～34歳、35～49歳では、次に「本やインターネットで調べる」、「かかりつけ医への相談」という順であるが、50～64歳では逆の結果になっている。また、65歳～では、「かかりつけ医への相談する」が一番多く、「本やインターネットで調べる」は少なかった。

【 F その他 主な意見 】

- ・家族、親族
- ・知り合いの医療関係者
- ・相談しない(自分で決める)
- ・がん治療専門施設以外の医療機関等
- ・知人、友人 など

【 全体合計の割合 】



問10 あなたががんと診断された場合に、知りたい情報はどんなことですか。（いくつでも）

	A 自分の病気に関する詳しい説明	B テレビなどで知った最先端の治療がどこで受けられるか	C 治療成績がいい病院（5年生存率など）	D 緩和ケア（ホスピス）病院に関する情報	E 自宅で療養する場合に受けられる医療・介護サービスに関する情報	F その他	合計件数	
全体合計	1354	513	583	528	528	29	3535	
区別	西 区	183	61	66	76	68	4	458
	中央区	361	123	162	158	138	6	948
	東 区	356	139	162	132	140	8	937
	南 区	191	86	77	56	74	4	488
	北 区	263	104	116	106	108	7	704
年齢別	18～34	226	101	121	83	60	9	600
	35～49	330	148	165	133	113	8	897
	50～64	393	154	156	150	148	8	1009
	65～	405	110	141	162	207	4	1029

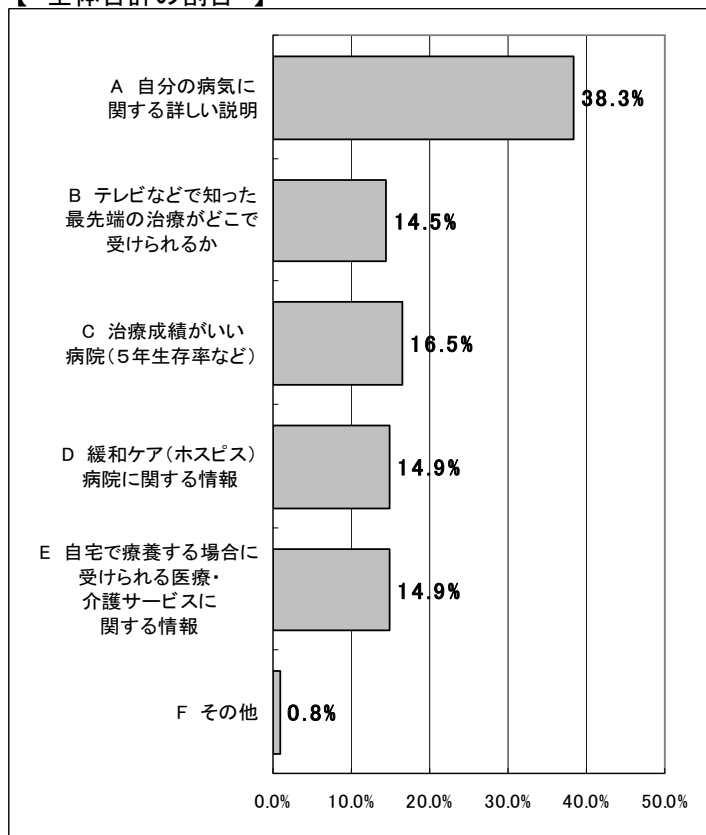
【 集計分析 】

- 全ての年齢区分で、がんと診断された場合に知りたい情報は、「自分の病気に関する詳しい説明」が最も多かった。
- 年齢区分別に見ると18～34歳、35～49歳、50～64歳では、「自分の病気に関する詳しい説明」の次に、「治療成績がいい病院」、「テレビなどで知った最先端の治療がどこで受けられるか」といった、積極的な治療に関する情報を求め、逆に、65歳～は「自分の病気に関する詳しい説明」の次は、「自宅で療養する場合に受けられる医療・介護サービス情報」や「緩和ケア」に関する情報の順になっており、気持ちの中に病気を受け入れ、積極的な治療より、療養や介護、緩和ケアに関する情報が求められている。

【 F その他 主な意見 】

- ・治療費用
- ・治療方法
- ・経済的な保証制度
- ・今後の生活について など

【 全体合計の割合 】





問11 今後、がん治療に関して力を入れてほしい取り組みはどんなことですか。（2つまで）

	A 新たな治療 方法（手術 方法）や薬 の開発	B 緩和ケア （肉体的な 痛み解消や 精神的なケ ア）の充実	C 残された時 間を家族と 過ごすため に、自宅で 療養できる 医療サービ スの充実	D がんサロン （患者同士 の交流会） の充実	E がんになっ ても働き続 けられる環 境	F その他	合計件数	
全体合計	1031	810	573	88	258	35	2795	
区別	西 区	140	107	89	13	31	4	384
	中央区	266	226	145	24	74	11	746
	東 区	267	219	139	19	72	9	725
	南 区	151	109	82	13	40	1	396
	北 区	207	149	118	19	41	10	544
年齢別	18～34	169	119	90	13	59	6	456
	35～49	243	193	124	18	99	11	688
	50～64	299	243	167	25	79	6	819
	65～	320	255	192	32	21	12	832

【 集計分析 】

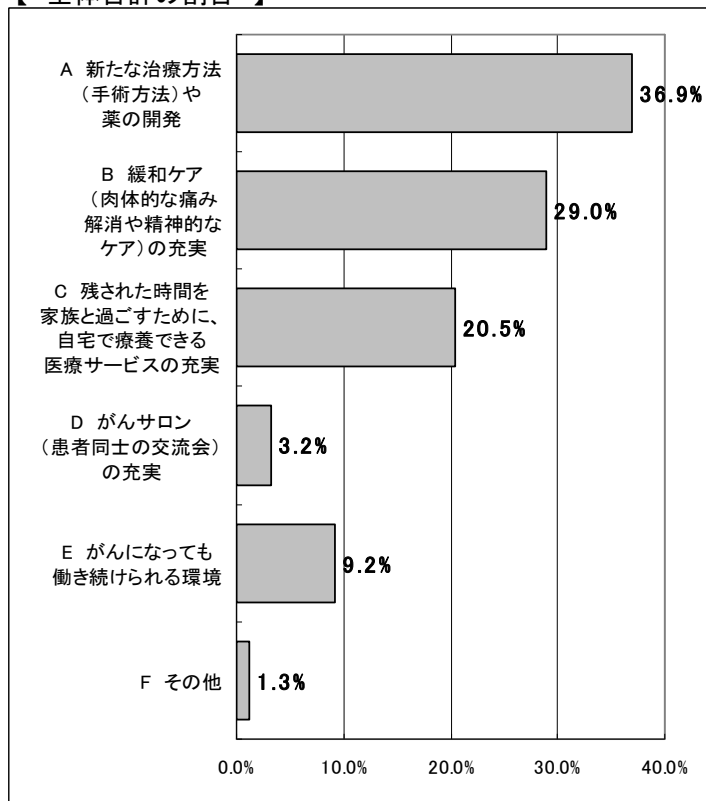
○ 全ての年齢区分で、「新たな治療方法や薬の開発」(36.9%)が一番多く、次に「緩和ケアの充実」(29%)、「残された時間を家族と過ごすために、自宅で療養できる医療サービスの充実」(20.5%)の順番となった。

○ 「がんになっても働き続けられる環境」と答えた方では、年齢別に見ると18～34歳が12.9%で、35～49歳は14.4%と割合が高かった。

【 F その他 主な意見 】

- ・がんの予防
- ・経済的な保証
- ・こころのケア(カウンセラーの育成)
- ・コーディネーター育成(相談支援の充実)
- ・医療施設の充実 など

【 全体合計の割合 】



問12 「がん」で治る見込みがなく死期が迫っている（6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定）と告げられた時、療養場所はどこを希望しますか。（1つだけ）

		A 専門病院に 入院して治 療を続けたい	B ホスピスの 病院で痛み のコント ロールを行 いながら残 された時間 を自分らし く過ごした い	C 専門の病院 やホスピス の病院に入 院したい が、最後の 時は自宅に 帰りたい	D 訪問による 医療サービ スを受けな がら、住み なれた自宅 で最後まで 家族と過ご したい	E 自宅で療養 を続ける が、最後の 時には病院 に入院した い	無回答	合計件数
全体合計		131	609	230	348	186	43	1547
区別	西 区	14	88	35	46	28	6	217
	中央区	32	180	60	89	44	8	413
	東 区	36	147	58	93	50	10	394
	南 区	24	72	33	54	28	8	219
	北 区	25	122	44	66	36	11	304
年齢別	18～34	12	82	47	85	24	3	253
	35～49	20	129	54	99	59	11	372
	50～64	38	204	61	80	58	9	450
	65～	61	194	68	84	45	20	472

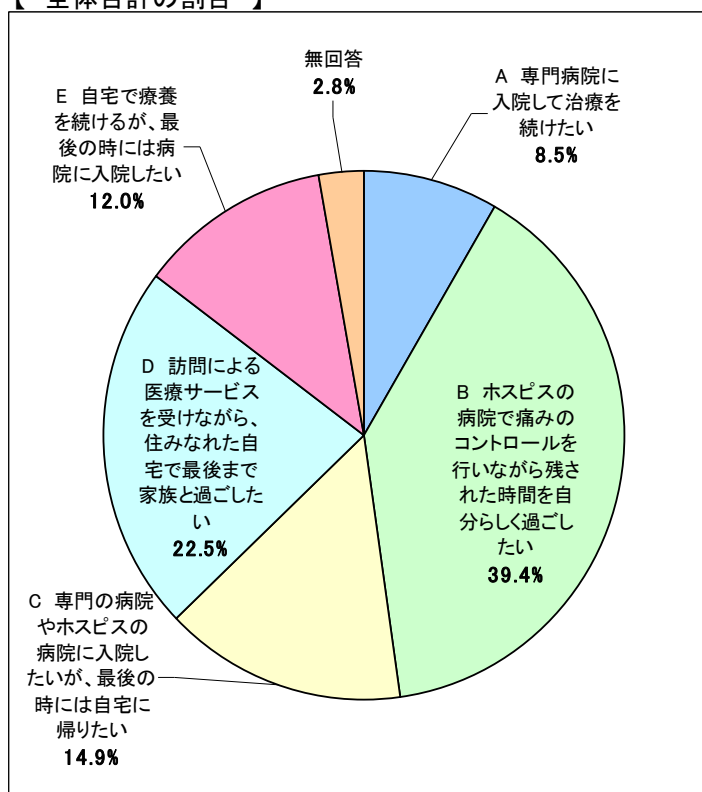
【 集計分析 】

○「がん」で治る見込みがなく死期が迫っていると告げられた場合、「専門病院に入院して治療を続けたい」と思う人は8.5%と少なく、「ホスピスの病院で痛みのコントロールを行ないながら、残された時間を自分らしく過ごしたい」が39.4%、「訪問による医療サービスを受けながら住みなれた自宅で最後まで家族と過ごしたい」が22.5%という結果であった。

終末期に際しては、QOL(生活の質)を大切にしながら自分らしく過ごしたいという考えが浸透してきているようである。

○問14では、長期の療養(介護)の場合に希望する療養場所を聞いているが、「自宅を中心に療養したい」という回答が一番多い。  
これは、がんの終末期の場合と異なる結果であったが、がんの療養の場合には、何らかの医療の必要性を感じておられると思われる。

【 全体合計の割合 】



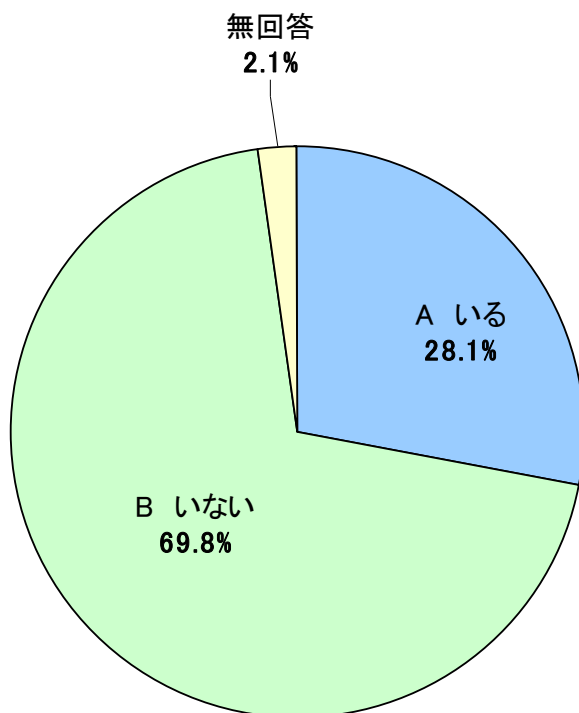
問13 あなたの身近に、介護が必要な方がおられますか。

		A いる	B いない	無回答	合計件数
全体合計		434	1080	33	1547
区別	西 区	57	155	5	217
	中央区	110	296	7	413
	東 区	106	278	10	394
	南 区	62	150	7	219
	北 区	99	201	4	304
年齢別	18~34	76	175	2	253
	35~49	95	272	5	372
	50~64	139	304	7	450
	65~	124	329	19	472

【 集計分析 】

- 身近に介護が必要な方がいる割合は、3割程度であった。
- また、「A いる」と「B いない」の回答群において、年齢構成に大きな違いはみられなかった。

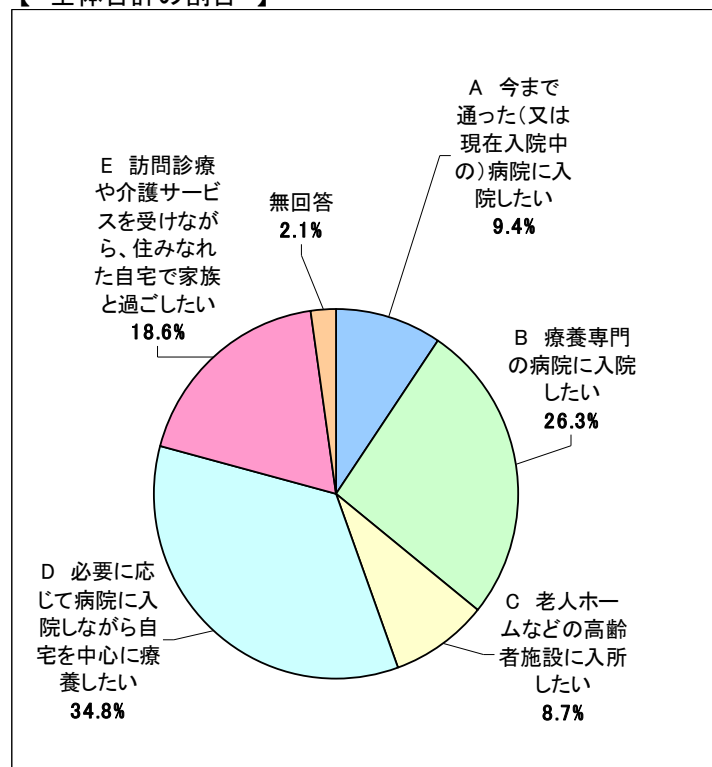
【 全体合計の割合 】



問14 あなたは、自分が治る見込みがなく寝たきり等で長期の療養（介護）が必要になった時に、療養場所はどこを希望しますか。（医師からは在宅での療養が可能という判断を聞いているとします）（1つだけ）

		A 今まで通った（又は現在入院中の）病院に入院したい	B 療養専門の病院に入院したい	C 老人ホームなどの高齢者施設に入所したい	D 必要に応じて病院に入院しながら自宅を中心に療養したい	E 訪問診療や介護サービスを受けながら、住みなれた自宅で家族と過ごしたい	無回答	合計件数
全体合計		146	407	135	538	288	33	1547
区別	西 区	22	50	18	83	39	5	217
	中央区	39	118	40	136	74	6	413
	東 区	44	96	36	132	76	10	394
	南 区	15	59	15	80	43	7	219
	北 区	26	84	26	107	56	5	304
年齢別	18～34	17	65	31	79	58	3	253
	35～49	26	100	40	123	74	9	372
	50～64	36	132	35	154	86	7	450
	65～	67	110	29	182	70	14	472

【 全体合計の割合 】



(集計分析は63ページに記載)

問13で A いる を選択された方の意見

	A 今まで通った (又は現在入 院中の) 病院 に入院したい	B 療養専門の病 院に入院した い	C 老人ホームな どの高齢者施 設に入所した い	D 必要に応じて 病院に入院し ながら自宅を 中心に療養し たい	E 訪問診療や介 護サービスを 受けながら、 住みなれた自 宅で家族と過 ごしたい	無回答	合計件数	
全体合計	35	126	49	135	87	2	434	
区別	西 区	6	15	6	21	9	0	57
	中央区	9	36	11	34	20	0	110
	東 区	10	28	13	31	23	1	106
	南 区	5	20	6	17	14	0	62
	北 区	5	27	13	32	21	1	99
年齢別	18~34	4	18	13	20	20	1	76
	35~49	6	30	10	29	20	0	95
	50~64	11	42	13	45	27	1	139
	65~	14	36	13	41	20	0	124

問13で B いない を選択された方の意見

	A 今まで通った (又は現在入 院中の) 病院 に入院したい	B 療養専門の病 院に入院した い	C 老人ホームな どの高齢者施 設に入所した い	D 必要に応じて 病院に入院し ながら自宅を 中心に療養し たい	E 訪問診療や介 護サービスを 受けながら、 住みなれた自 宅で家族と過 ごしたい	無回答	合計件数	
全体合計	109	277	86	399	201	8	1080	
区別	西 区	16	35	12	61	30	1	155
	中央区	29	81	29	101	54	2	296
	東 区	33	67	23	99	53	3	278
	南 区	10	38	9	63	29	1	150
	北 区	21	56	13	75	35	1	201
年齢別	18~34	13	47	18	59	38	0	175
	35~49	20	70	30	94	54	4	272
	50~64	25	90	22	108	59	0	304
	65~	51	70	16	138	50	4	329

問13で 無回答 の方の意見

	A 今まで通った (又は現在入 院中の) 病院 に入院したい	B 療養専門の病 院に入院した い	C 老人ホームな どの高齢者施 設に入所した い	D 必要に応じて 病院に入院し ながら自宅を 中心に療養し たい	E 訪問診療や介 護サービスを 受けながら、 住みなれた自 宅で家族と過 ごしたい	無回答	合計件数	
全体合計	2	4	0	4	0	23	33	
区別	西 区	0	0	0	1	0	4	5
	中央区	1	1	0	1	0	4	7
	東 区	1	1	0	2	0	6	10
	南 区	0	1	0	0	0	6	7
	北 区	0	1	0	0	0	3	4
年齢別	18~34	0	0	0	0	0	2	2
	35~49	0	0	0	0	0	5	5
	50~64	0	0	0	1	0	6	7
	65~	2	4	0	3	0	10	19

【 集計分析 】

- 長期の療養(介護)が必要になった時、希望する療養場所として、「必要に応じて病院に入院しながら自宅を中心に療養したい」(34.8%)、「訪問診療や介護サービスを受けながら、住みなれた自宅で家族と過ごしたい」(18.6%)を合わせると、医療サービスや介護サービスを受けながら自宅での療養を希望している方が53.4%で全体の過半数であった。「老人ホームなどの高齢者施設に入所したい」(8.7%)と回答した方と合わせると約6割が医療機関以外での療養を希望されている。
- 在宅療養を希望する方が、安心して過ごせるための仕組みづくりが重要である。
- また、年代別にみても、同様の傾向であるが、「今まで通った(又は現在入院中の)病院に入院したい」と回答した方は、他の世代では7~8%であったのに対し、65歳以上では14%と比較的高い傾向を示した。
- 問13の質問で介護が必要な方が「いない」と回答した方では、「自宅中心の療養をしたい」と回答した方が37%で最も多かったが、介護が必要な方が「いる」と回答した方は、1位が「自宅を中心に療養したい」の31%、2位が「療養専門の病院に入院したい」が29%とほとんど変わらない割合であった。これは、既に介護が必要な方がいることで、介護の苦勞を感じていると伺える。

問15 問14で自宅以外（A、B、C）を選択した方にお尋ねします。自宅での療養に対する不安の理由は何ですか。（2つまで）

	A 往診してくれる医師がない（知らない）	B 24時間いつでも来てくれるところがない	C 病状が悪くなったときにすぐ入院できない	D 介護してくれる家族がない	E 介護してくれる家族はいるが負担がかかる	F 部屋の状況等、居住環境が整っていない	G その他	合計件数
全体合計	70	81	142	145	430	137	27	1032
区別	西 区	7	13	18	19	61	15	137
	中央区	23	22	41	44	119	41	296
	東 区	23	20	43	36	108	38	277
	南 区	5	9	14	16	60	17	124
	北 区	12	17	26	30	82	26	198
年齢別	18～34	8	12	14	5	92	19	160
	35～49	11	14	30	27	116	39	244
	50～64	17	27	47	50	126	44	316
	65～	34	28	51	63	96	35	312

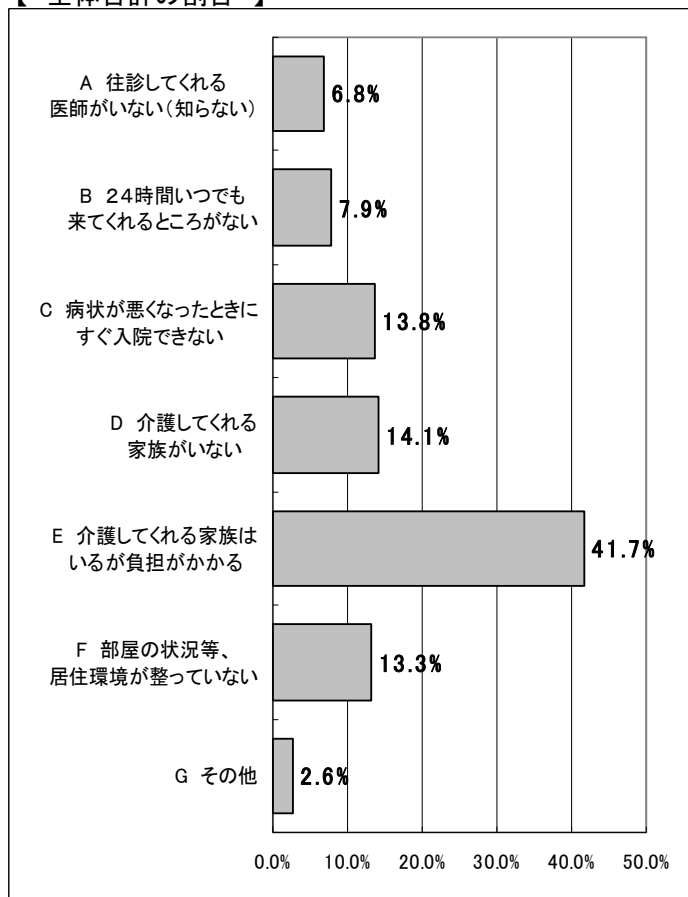
【 集計分析 】

- 自宅での療養に対する不安の理由として、「介護してくれる家族に負担がかかる」が41.7%で最も多かった。
- また、年代別に見てもその傾向は変わらないが、年齢が上がるにつれて、「介護してくれる家族がない」と回答する方の割合が増加していた。
- 本市では高齢者がいる世帯のうち、単身世帯及び高齢者夫婦のみの世帯がそれぞれ3分の1を占めており、介護力の不足や介護者の負担軽減のための支援が求められている。

【 G その他 主な意見 】

- ・ プロに任せる
- ・ 慣れた人に介護してもらいたい
- ・ 専門の病院で治療を続けた方が良い
- ・ 専門の医師の往診がなく大変だった

【 全体合計の割合 】



問16 あなたは、自分自身や家族が回復の見込みがない終末期になった時、どのような医療を受けたいですか。（1つだけ）

		A 最後まで命を大切に するために、最大の医療 を受けたい	B 基本的に延命治療は控 えたいが、患者の負担 が少ない治療であれば、 延命のためであっても受 けたい	C 延命治療は受けたく ない。自然に最後を迎 えたい	D その時にならないとわ からない	E 医療については医師の 意見に従いたい	F その他	無回答	合計件数
全体合計		80	212	776	376	48	24	31	1547
区別	西 区	11	31	115	44	9	3	4	217
	中央区	21	57	208	106	6	7	8	413
	東 区	22	53	182	102	17	7	11	394
	南 区	12	33	101	59	5	3	6	219
	北 区	14	38	170	65	11	4	2	304
年齢別	18~34	16	53	93	73	6	10	2	253
	35~49	19	58	166	114	1	8	6	372
	50~64	20	54	255	101	11	4	5	450
	65~	25	47	262	88	30	2	18	472

【 集計分析 】

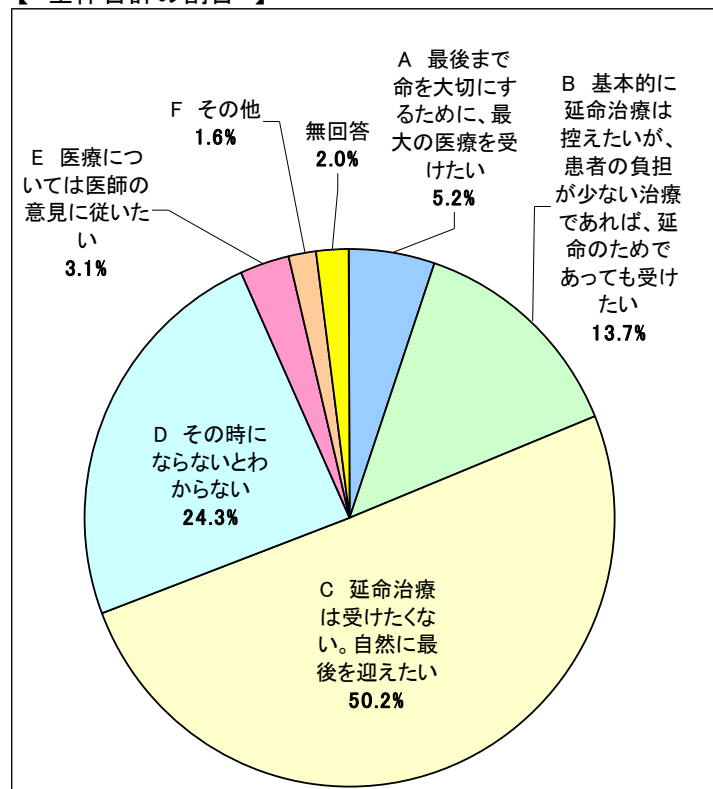
○ 終末期に受けたい医療については、「延命治療を受けたくない」と回答した方が50.2%と半数であった。

○ 年代別に見ると、50歳以上の年齢層では、「延命治療を受けたくない。」と回答した方が過半数であったのに対し、49歳までの年齢層では4割程度であった。また、49歳までの年齢層では「その時にならないとわからない」と回答した方の割合が3割と比較的多い傾向が見られた。

【 F その他 主な意見 】

- ・ 自分自身は延命治療は受けたくないが、家族には1日でも長く生きてほしい
- ・ 家族に負担がかからないようにしたい

【 全体合計の割合 】





問17 あなたは、自分自身や家族が回復の見込みがない終末期になった時の医療の受け方（延命治療等）について、日ごろから考えていますか。（1つだけ）

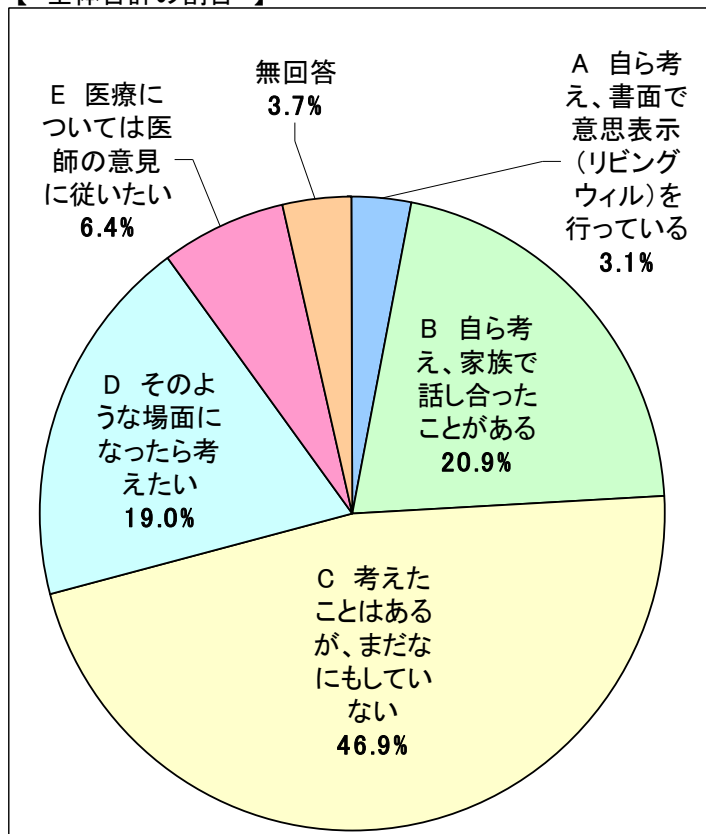
	A 自ら考え、 書面で意思 表示（リビング ウィル）を行っ ている	B 自ら考え、 家族で話し 合ったこと がある	C 考えたこと はあるが、 まだなにも していない	D そのような 場面になっ たら考えたい	E 医療につい ては医師の 意見に従い たい	無回答	合計件数	
全体合計	48	324	725	294	99	57	1547	
区別	西 区	4	51	109	38	12	3	217
	中央区	18	83	197	75	21	19	413
	東 区	15	85	172	80	28	14	394
	南 区	4	37	103	50	16	9	219
	北 区	7	68	144	51	22	12	304
年齢別	18～34	3	47	125	60	9	9	253
	35～49	6	68	203	75	11	9	372
	50～64	16	102	213	81	22	16	450
	65～	23	107	184	78	57	23	472

【 集計分析 】

○ 終末期になった時の医療の受け方について、「考えたことはあるが、まだなにもしていない」が46.9%で最も多かった。「書面で意思表示を行っている」は3.1%、「家族で話し合ったことがある」は20.9%で、あわせると約7割の方が終末期になった時の医療の受け方について考えたことがわかった。

○ しかしながら、その中で書面による意思表示を行っている方はごく一部であり、今後は、人生最後の場面に際して、どのような医療を希望するのか、生活の質を確保しながら、自分がどのような医療を望むかについて、市民一人一人が考える機会を日ごろから持つことが重要であり、希望する医療が受けられるような社会の醸成も必要である。

【 全体合計の割合 】



問18 あなたは、「くまもと医療都市2012グランドデザイン」を読んでどう思われましたか。（同意できるところ、印象に残ったところ、賛成できないところ、足りないところなどについて、ご意見を自由にご記載ください）

【 A（同意できるところ、印象に残ったところ）と答えられた方の主な意見 】

- |  |  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大変素晴らしいと思います。10年後に制定以上のものを期待しています</li> <li>・ 医療拠点都市として、もっとアピールして欲しい</li> <li>・ 的確にとらえられており感心した。ネットワーク化、情報提供を迅速に進めて欲しい</li> <li>・ 研究者の育成に関しては、同意というより、しなければならないこと</li> <li>・ 「がん情報・相談センター」の設置には期待しています。患者が、病院を選べるようになったらいいと思う</li> <li>・ 精神科の入院患者が多いことに驚いた</li> <li>・ どの診療科を受診すべきか困ったことがある。市民病院に総合医がいて欲しい</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 救急医療について、熊本市では、重症患者が確実に治療できる体制ができている</li> <li>・ 1枚の診察券ですべての医療機関を受診できる。個々の医療から「チーム熊本」の医療になって欲しい</li> <li>・ 高齢者や障がい者などが住み慣れた地域でいきいきと暮らせる都市のコーナーは考えさせられた。これから一番必要なことであり、個人が健康を維持するために努力することも必要である</li> <li>・ 在宅医療・介護を始めるとき、患者・家族は不安です。相談窓口を充実させて欲しい</li> <li>・ 終末期の時のことを、深く考えるようになった</li> <li>・ 「生かされる医療」から「生きている医療」に転換すべき など</li> </ul> |
|--|--|

【 B（賛成できないところ、足りないところ）と答えられた方の主な意見 】

- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実現の時期や成果の数字など、具体的な目標を示して欲しい</li> <li>・ 質の高い医療を県外に発信する前に、市民の方々に周知すべき</li> <li>・ すばらしい構想だと思いますが、医療費捻出、個人負担が心配です。収入の低い人は利用できない</li> <li>・ 医療費の負担について言及されていない</li> <li>・ 最先端の医療も大切ですが、予防が大切。医療費の削減も図れる</li> <li>・ 長野県は予防に地域ぐるみで力を入れていたので、医療費も少なかった</li> <li>・ 病院を3ヶ月毎に転院しなくてよい方法を検討してください</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 精神疾患や認知症は、地域ぐるみでの早期発見が重要</li> <li>・ 救急病院が東南部に偏りすぎている。市民病院は北区に移転してはどうか</li> <li>・ 「在宅医療の推進」は理想的だが、これから核家族化に伴い、実現は難しいと思う。施策を進める必要がある</li> <li>・ 在宅医療・介護は望ましいと思うが、看護・介護する人の生活や負担も気になる</li> <li>・ 家族に負担をかけるので、自分の場合は在宅療養は無理。施設の利用も可能にして欲しい</li> <li>・ いきいきと暮らせる地域をひとつでも(モデル)全力で作ってみてはどうか</li> <li>・ 小児の夜間診療は待ち時間が長い など</li> </ul> |
|---|--|